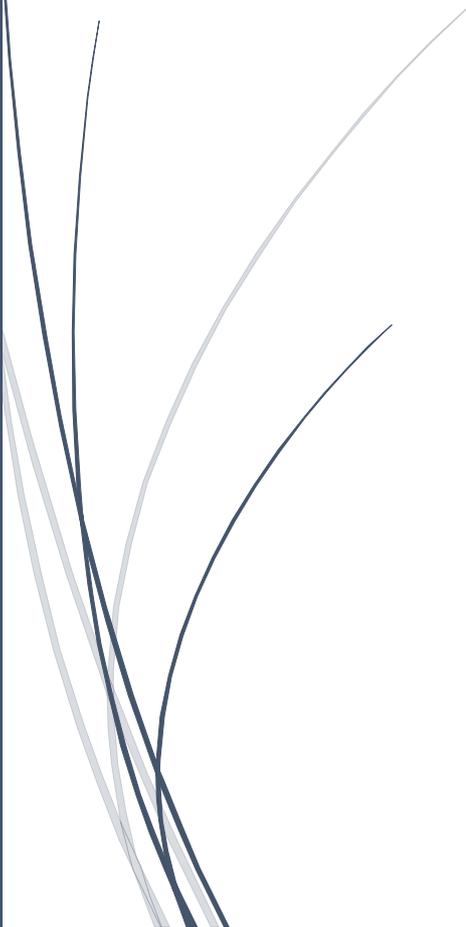




かんきょうデザインプロジェクト 活動報告

2020年度版



◎ はじめに

思わぬパンデミックに翻弄され、改めてグローバル社会のライト&ダーク(Light&Dark)を実感した2020年。ウイルスは自分では動けませんが、人類の活発な交易によって世界中を動き回り、いとも簡単に交易を遮断させるパワーを見せつけました。世界各国で人々の往来を制限し、ワクチンの開発及び接種によってまん延防止を図っています。あかるい兆しも見えますが、しかし、今は未だ往来制限・ワクチン以外の解決方法を持ち合わせていないように思います。

私たちの活動も制限を余儀なくされ、プログラムの見送り、停止、延期と様々な対応をもって過ごした一年となった反面、「制約が生み出す価値」という新しい発想が生まれ、知恵・知識の習得意欲が沸き上がり、次なる行動に希望が灯った一年でもありました。

その希望の一つに感染対策を施しながらのプログラム実施はこれまで隅っこに追いやられていた「丁寧」という態度を取り戻すのにとっても良い効用をもたらしてくれました。

課題と矛盾に満ちたこの社会で、それでもいろいろな声に耳を澄ませて、一步一步丁寧に生きる幸せを、じっくり味わえる活動を続けてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます

2021年4月25日

◎ 目次

- 1 活動履歴
- 2 ご協賛、後援、ご支援いただいた皆様
- 3 活動紹介
 - 3-1 音楽×環境「対バンやろうぜ！」
 - 3-2 中高生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト
 - 3-3 サステナブルチャレンジ～ USEDリメイク ～
 - 3-4 環境啓発に関する講演活動
 - 3-5 地域清掃活動
 - 3-6 その他の活動
- 4 成果発表会 かんきょう文化祭
 - 4-1 会場写真 & プログラム紹介
 - 4-2 かんきょう「組写」フォトコンテスト 表彰式
 - 4-3 来場者アンケート(抜粋)
- 5 広報資料、その他等

≪1 活動履歴≫

(2020 年)

- 04 月 25 日 (地域) 清掃活動
- 05 月 04 日/05 月 19 日 (会議) 対バンやろうぜ 出演者オンライン会議
- 05 月 20 日/05 月 26 日 (会議) 対バンやろうぜ 出演者オンライン会議
- 05 月 23 日 (地域) 清掃活動
- 05 月 27 日 (活動) ペットボトルキャップの回収とリサイクル工場に引き渡し
- 05 月 31 日 (会議) かんきょう「組写」フォトコンテスト 活動打ち合わせ
- 07 月 12 日 (会議) 対バンやろうぜ スタッフ会議
- 07 月 18 日 (会議) 対バンやろうぜ スタッフ会議
- 08 月 02 日 (地域) 清掃活動
- 08 月 07 日 (会議) 対バンやろうぜ スタッフ会議
- 08 月 12 日 (地域) 清掃活動
- 08 月 23 日 (活動) 音楽×環境「対バンやろうぜ!」開催
- 09 月 09 日 (会議) かんきょう「組写」フォトコンテスト 活動打ち合わせ
- 09 月 13 日 (会議) セブンイレブン記念財団 オンラインセミナー参加
- 09 月 22 日 (広報) SDGs マガジン ソトコト取材
- 09 月 25 日 (会議) つくる大学 岩手県遠野市 リサイクル出前講師 打ち合わせ
- 09 月 29 日 (講師) つくる大学 テーマ「地球環境を考える～ゼロ・ウェストの一步～」
- 10 月 07 日 (広報) TSM(音楽)専門学校 コラボ企画打ち合わせ
- 10 月 15 日 (講師) 横浜本牧ロータリークラブ テーマ「丁寧な暮らし」
- 10 月 20 日 (活動) ペットボトルキャップの回収とリサイクル工場に引き渡し
- 10 月 25 日 (地域) 清掃活動
- 11 月 23 日 (会議) かんきょう文化祭 活動打ち合わせ
- 11 月 29 日 (地域) 清掃活動
- 12 月 01 日 (広報) かんきょう「組写」写真館 at ROUROU Café
- 12 月 21 日 (会議) 音楽×環境「対バンやろうぜ!」 反省会
- 12 月 22 日 (活動) ペットボトルキャップの回収とリサイクル工場に引き渡し
- 12 月 24 日 (広報) 神奈川県高校生写真展でチラシ配布

(2021 年)

- 01 月 26 日 (会議) かんきょう文化祭 活動打ち合わせ
 - 02 月 17 日 (活動) かんきょう「組写」フォトコンテスト 一次審査・選考会
 - 02 月 17 日 (会議) 横浜デザイン学院 かんきょう文化祭出展打ち合わせ
 - 03 月 27 日 (活動) かんきょう文化祭(3/27・28 2日間)
- ※スタッフミーティング コロナ禍の為、必要時に LINE、メールで毎月 2～3 回 開催

《2 ご協賛、後援、ご支援いただいた皆様》

◆ エコアクションサポーター

株式会社シゲン <https://www.shigen.com/>
有限会社工藤紙業
けやき株式会社
寺西容器店
和英堂興産株式会社 <http://www.waeido.co.jp/>
有限会社佐々木商店 <https://sasaki-co.jp/>
株式会社神港商会 <http://www.shinko-shokai.jp/>
横浜市資源リサイクル事業協同組合 <http://www.recycledesign.or.jp/>
神奈川県資源回収商業協同組合 <http://www.kanagawa-shigen.jp/>
三誠企業株式会社 <https://ndkgroup.co.jp/lp/sansei/>
有限会社マルニ商店 <https://www.marunishoten.co.jp/>

◆ 助 成

一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 <https://www.7midori.org/>

◆ 協 力

横浜高速鉄道株式会社 <https://www.mm21railway.co.jp/>
株式会社丸喜商会 <http://marukishoukai.jp/>
イベントコーディネーター 高橋直美 / ものづくり講師 Kaco
グラフィックデザイナー 新村浩子 (広報チラシ制作)

◆ 後 援

神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会

皆様のご支援に心から感謝申し上げます (敬称略)

《3 活動紹介》

3-1 音楽×環境「対バンやろうぜ!」

もっと社会が環境の課題に向き合えるよう、新たに、音楽の持つ伝達力や共感力で環境に対する価値観の更新を試みるライブを2020年3月に企画しました。そこに、人間と野生生物の間の相互作用と、国境を越えて人とモノの移動の組み合わせによって引き起こされた新型コロナウイルス感染の拡大という環境問題が発生。

日程を再延期し、入場者も30名以内に制限、感染対策にも万全を施して実施しました。

【概要】

タイトル 音楽×環境「対バンやろうぜ!」

日時 2020年8月23日(日) 18時30分～19時50分

会場 横浜セブンスアベニュー 横浜市中区山下町252 B1

出演者 SHUN / 碧 / Cato Evora

(当初、10組の出演予定でしたが延期・再延期の末、3組での開催となりました)

入場料 高校生・大学生 500円 大人 1,000円 (+1ドリンク600円)



オフィシャルフォト撮影 & 提供 神奈川県立瀬谷高等学校 写真部

環境への想い、日常感じていることをMCとオリジナルソングで伝えてくれました。
エンディングは、当イベントのコーディネーター川上真樹さん作詞・作曲のテーマソング
「Rebirth～感情再生」を出演者全員で熱唱。
若い世代の歌と想いが地球環境に思いを馳せるきっかけとなりますように。

○ 来場者からいただいたメッセージ (抜粋)

コロナ禍で演奏活動ができない苦悩が感じられました。その分、ステージに思いを込められていましたね。

出演者のまっすぐな思いが歌を通じて伝わってきて、とても感動しました。各演奏者に世界観があり、なんといっても歌唱力、演奏力が高く、見応えがありました！今回は音楽に「環境」というテーマが加わり、通常の演奏に少し深みが増している感じがしました。

それぞれの思いを込めてステージに立った皆さんが心に残りました。もちろん環境問題を踏まえながら今の心境を偽るのではなく素直に出していたと思います。この時期にイベントをやる事自体が賛否両論あります。このイベントに参加した事が、皆さんの音楽活動や生きていく事にプラスになっていくと思います。

○ コーディネーター ネオ・トラディショナル・シンガー 川上真樹(かわかみ まさき)

邦楽から、Blues、Jazz、R&B、ROCKなどの洋楽までを
ひとつのLIVEで歌う。

ネオ・トラディショナル・シンガーとして

幅広い世代のファンから支持され、

またヴォイストレーナー、ラジオパーソナリティなど

幅広く活躍中。 <http://mackie-i-lands.co.jp/>



○ 飲料カップは洗って使えるリユースカップを採用!



3-2 中高生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト

「行動を起こすきっかけとなる情報を創り出すこと」をコンセプトにした写真公募展。一次選考を通過した35作品が、2021年3月27日・28日開催の「かんきょう文化祭」で展示され、一般来場者と応募者による審査・投票を行い、表彰式を行いました。

【概要】

公募テーマ 「地球をモニタリング」

公募作品 ○「組写」部門 2～3枚の組み合わせ写真 + タイトル(45文字以内)

○「メッセージ」部門 1枚の写真 + メッセージ(400文字以内)

応募資格 国内の高校、中学校に在学中の「高校生」「中学生」

応募期間 2020年11月1日～2021年2月14日

表彰品 ディズニーペアチケット、iTuneカード、アマゾンカード、クオカード。
グランプリ、2位、3位には表彰状も贈呈。

メッセージ部門 大人の見方 グランプリ作品



マルちゃん正麺の袋はゴミ箱に捨てられることなく、広い海で漂っていた。

魚と一緒に泳いだり、風に流されてみたり、他のゴミが経験できないようなことをたくさんしてきたのだろうか。

しかし、本来ならゴミ箱に入ってリサイクルされて、新しいものに生まれ変わりまた地上を旅することができる。地球への優しさとは、ゴミを広い海で旅させるのではなく、ゴミ箱にきちんと捨て、リサイクルすることである。

森田 空

2020年度かんきょう「組写」フォトコンテスト表彰作品

<https://kankyo-design.org/kumi-sya>



3-3 サステナブルチャレンジ ～ USED リメイク ～

例年、「USED リメイクファッションショー」として各家庭から出される古着が集まるファクトリーを訪ね、そこで調達した古着を新たな服によみがえらせ、ファッションショーでお披露目するというプログラムを行って来ました。しかしコロナ禍により、学校の休校、リモート授業など、学生との対面コミュニケーションでプログラムを進めることが叶いませんでした。今年度は試行的な一年と位置付け、「サステナブルチャレンジ～ USED リメイク～」と題し、ツイッターとインスタグラムでリメイク作品の募集を行い、制作プロセスの披露、大人も参加できるタグ企画など、アフターコロナのプログラム構築に備えました。



3-4 環境啓発に関する講演活動

オンライン1回(遠野市つくる大学)、対面1回(横浜本牧ロータリークラブ)、計2回の講演活動を行うことができました。コロナ禍は会議・情報交換の多くをオンラインへと移行させました。コロナ禍の収束以降もそれが続くかは分かりませんが、オンラインは言葉の使い方・伝え方、資料の作り方・見せ方など対面とは異なる新たな発見をもたらし、また今までトライしたことのない演出の可能性にも気づかせてくれました。この学びを活かして、引き続き、後援活動が続けて行きますのでお気軽にお声がけください。



3-5 地域清掃活動

感染に留意しながら、
4/25、5/23、8/2、8/12、10/25、11/29 の
計6回、行いました。



3-6 その他の活動

- ◆ ペットボトルキャップの回収とリサイクル工場に引き渡し
5/27、9/25、12/22 の計3回、行いました。
- ◆ かんきょう「組写」写真館 at ROUROU Cafe

かんきょう「組写」フォトコンテストの作品公募とPRを兼ねて、過去の入賞作品を展示しました。

展示期間 2020年12月1日～2021年2月14日

会場 横浜中華街 ROUROU Café

アパレルショップ「ROUROU」がプロデュースするCafé



- ◆ 取材対応

- ① 2021年3月26日 Yahoo!ニュース みんなの経済新聞
かんきょう文化祭の告知 <https://news.yahoo.co.jp/articles/337d46fa92391dd8897fbee63886c31f9a0b00fb>
- ② 2020年11月3日 ソーシャル&エコ・マガジン「ソトコト」のオンラインメディア
かんきょうデザインプロジェクトの活動紹介 (連載 みんなのサス活 4)
https://sotokoto-online.jp/2996?fbclid=IwAR0ZF5d2gBC6jEr9HrPq8KDxYA7A_Qzc2Vc8PUxbZLSWLK7agrwwP7lnqB4

≪4 成果発表会 かんきょう文化祭≫

かんきょう文化祭とは、10代、20代の若い世代が自分の作品を通して、感情を十分に発露し、環境の課題を広く社会に発信する活動です。同時に作品の成果を発表する場です。今年度はコロナ禍の影響もあり、例年11月の開催でしたが2021年3月に時期を変更し、また、若い世代の作品に留まらず様々な世代の作品や調査結果、SDGsの取り組みなどの展示・紹介も行いました。

【概要】

タイトル 2020年度かんきょう文化祭

日時 2021年3月27日(土) 11時～19時 / 3月28日(日) 11時～18時

会場 みなとみらい線みなとみらい駅 改札外コンコース「みらいチューブ」

4-1 会場写真 & プログラム紹介



1. 中高生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト

環境問題に対して関心を引き起こし、
行動をおこすきっかけづくりに取り組む写真公募展。
今年度の公募テーマは「地球をモニタリング」でした。
一次選考を通過した組写部門 30 作品と
メッセージ部門 5 作品が会場に展示され、
一般来場者および応募した本人も審査員として投票し、
各賞が決定された後、表彰式を開催。
また、会場でのリアル投票に先立ち、
3/15～3/22 に行われたオンライン投票の表彰も一緒に行いました。



2. ワークショップ ステンドグラス風ディンプルアート体験 (27日のみ)

自動車のフロントガラス飛散防止に
使われている樹脂をリサイクルしたエコな絵の具で
体験するステンドグラス風ディンプルアート。
好きな下絵を選んでの色つけ体験なので、
絵が苦手な方にも気軽にステンドグラス風アートを
楽しんでいただきました。

参加費 1,300～2,200 円

素材 PVB(樹脂)顔料、エタノール

出展者 原田望由



3. ワークショップ 新聞紙でえんぴつをつくろう

えんぴつの芯にお気に入りの新聞紙を巻いて、自分だけの
えんぴつを作るワークショップ。

新聞紙 4 分の 1 ページ分を 8 つに切り、

1 枚目から巻く「フルコース」20 分と

最後の 8 枚目だけを巻く「お手軽コース」5 分コースの
どちらかを選べるので、自分のペースでお気に入りの
えんぴつを作りました。

参加費 100 円(1 本)

素材 新聞紙、でんぷんのり

出展者 小沢栄一



4. サステイナブル ファッションアート 横浜デザイン学院

デザインテーマ「プラスチックゴミと海の生き物たち」
化学繊維やプラスチックゴミを主な素材として、
海の生き物をモチーフとして制作した衣装を展示。
作品をきっかけに海の環境に関心ある方たちの
意見交換している様子がとても印象的でした。



出展者 吉本梨花

横浜デザイン学院ファッション科 (2021年3月卒)

5. こうだったらいいな ユニバーサルデザイン

高齢者や障害をお持ちの方の衣服に関する
『こうだったらいいな』を
新規製作、リメイク等の方法で実物製作。
特養ホームで働く介護者と被介護者、
お互いが衣服の着脱に苦労しています。
介護はオーダーメイドの提供が求められるが現実は一
律的が多い。
機能と着心地とデザイン性を兼ねた作品を展示。
展示数 6体 (メンズ3体、レディース2体、男女共用1体)



作品製作 文化学園大学教員 井上 昌恵・小出 恵

6. 「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」進捗報告！

横浜都心部を流れる大岡川（中村川・堀川を含む）は、
水源から河口まで全てが横浜市内にあります。
市民の力でどこまで綺麗にできるのか、
現状の水質調査から魚礁の設置に至るまでの
成果を展示しました。

出展者 NPO 法人 HamaBridge 濱橋会



7. パートナリツプで目標を達成しよう SDG s 経営の製品紹介

持続可能な経営を目指すことで子育て中の方やハンディキャップのある方でも無理のない働き方ができる環境作りや、地球に負荷を与えない製品やサービスの開発などSDG s の考え方を取り入れた未来型経営の事例紹介ブース。カンボジアで廃材となった蚊帳（カヤ）を利用し、女性や内戦でハンディキャップを背負った方達が製作した作品を展示しました。



出展者 株式会社チャタ

8. パーカッション★ワールド かんきょうを音で感じよう！

横浜を拠点にクラシック・ジャズ・ワールドミュージック等、様々なジャンルの打楽器音楽の可能性を追求し、コンサート・ワークショップの他指導や普及活動を全国各地にて行っている「パーカッション★ワールド」。風・光・水をイメージした音楽の演奏と小さな子供たち向けのワークショップを行いました。大人の観賞者には楽器用の木材資源枯渇について紹介。



出展者 8.パーカッション★ワールド かんきょうを音で感じよう！

9. アクセサリーもアップサイクル お宝発見!ビンテージアクセサリーを発見しよう

お片付けと遺品整理から出てきたアクセサリーの展示、販売。お手価格もあつてか、いつの間にか、お帰りになるご来場者が身につけていらっしゃいました。

出展者 環境カウンセラー 古川めぐみ
協力 ものづくり講師 Kaco



4-2 かんきょう「組写」フォトコンテスト 表彰式

かんきょう文化祭のエンディングプログラムとして、3月28日(日)16時30分より会場で表彰式を行いました。このフォトコンテストの特徴は「広く一般の方による投票と開票直後に行う表彰式」なので、主催者も発表寸前までどの作品が表彰されるかわかりません。

そんなワクワク、ドキドキしながらの表彰式・・・かつて、漁や狩りはその日になにが獲れるかわからない期待と不安が交錯する「自然の臨場感」の中で日々の暮らしが営まれていました。まさにワクワク、ドキドキ満載!

この「自然の臨場感」を少しでも感じられるよう取り組んでいます。投票、そして表彰式に参加していただいた応募者のみなさん、大人のみなさん、ありがとうございました。

※ グランプリ、2位、3位は表彰状も授与させていただきました。



4-3 来場者アンケート(抜粋)

会場で審査(選考)と投票を頂いた皆さまに、フォトコンテストに参加した高校生へ向けて作品の感想やメッセージをお願いしたところ、たくさんのお言葉を頂きました。抜粋してご紹介します。

以下の注1~4について、予めご了承ください。

注1 重複する内容の感想はまとめました。

注2 読みやすくするため、一部補正をさせていただきました。

注3 文中にある「003」「025」という数字は展示作品の番号です。

全展示作品のウェブ公開はしていませんが制作者に感想及びメッセージが届けばと、掲載しました。

注4 高校生の皆さんの感想も掲載しています。

○感性豊かな作品が多すぎて、今回は大変悩みました。何度も何度も各作品の前を歩きました。「組写」ということで、それぞれが違った鮮やかさがあるものに決めました。部屋に飾りたいなあーとか、パズルになってもらうとか、ワクワクしながら鑑賞できました。

○「写真から訴えてくる言葉はなにか」これを基準に選びました。「被写体がどんな思いでいるのだろう」・・・それを読み切り、感じながら、ひとつひとつを拝見しました。素敵な言葉や今一度考えるべきメッセージを受け取りました。気づきをありがとう!

○高校生とは思えない大人っぽい着眼点と写真のレベルに驚きました。

○植物や生物や光の写真が多く、普段気づかないけれど身近にあるものが、きれいに見えるということに驚きました。この自然を守っていこうというメッセージが伝わりました。

○皆さん、写真がとにかく上手だと、素直に感動しました。高校生の部活動は、今年は何かと大変だったと思いますが、負けずに楽しんでほしいと思います。

○ふだん目に留めずに通り過ぎていた景色や自然にカメラを向けていたり、「わあ〜」と心をギュッとつかまれるようなステキな作品がいっぱいありました。

○どれを選んでよいか非常に迷いました。素晴らしい機会をありがとう、一緒に未来をつくっていきましょう。

○写真を撮ることを通して高校生の皆さんが、深く思索されていることに感激しました。皆さんの切り取った自然の美が地球全体に広がることを祈らずにはられません。

○今回は技術的にもかなり高度な作品が多く感じられました。

○私たちが経験したことのない時代に高校生の皆さんが、こんなに真剣に自然と社会を見つめてくれているのに感動しました。これからもしっかりと生きてください。

○何気ない日常の中にも、普段気づかないままに通り過ぎている景色の中にも、数えきれない不思議や感動があります。それらを私たち人間が「利便性」と引き換えに、日々破壊している事実を可視化し、認識してもらうための取り組みに敬意を表したいと思います。今日はありがとうございました。

○身近な問題をアートと結びつけて考えていることが素敵だと思いました。

○作品とことばをひとつひとつ丁寧に見させていただきました。高校生の皆さんが、今、この時に感じている日常がとてもよく表れていて、うれしさと切なさの両者が一度に込み上げてきて、グッとくるものがありました。マイナスは少しでもゼロに近づけるように、プラスは継続できるように。これからの皆さんの未来を、日常を大切にしながら、つくってほしいと思います。ありがとうございました。

○同じ高校生でありながら、フォトコンテストに参加された多くの生徒の方々は、自然や環境問題について目を向けているのだと感じ、わたしも見習っていきたいと思いました。

○人それぞれ個性があり、すごく素敵な作品ばかりだなと思いました。私にはまだまだ追いつけない作品ばかりで勉強になります。

○同じ一つのテーマでこんなにもたくさんの写真が撮れるものなのかと思いました。テーマがあれば、まずそれについて考えるところから始まるので、今回写真を撮ることで良い機会をいただきました。



5 広報資料、その他等

かんきょう「組写」フォトコンテスト
作品公募チラシ(A4判)



サステナブルチャレンジ
作品公募チラシ(A4判)



かんきょう文化祭
広報チラシ(A4判)



音楽×環境「対バンやろうぜ!」
オンライン PR 用



かんきょう文化祭 会場看板
(横 1800×縦 900)



(付記)

2010年にスタートした当団体の活動も10年が経ちました。

この10年を振り返りつつ、これからの活動を見つめ直すため、この機会にこれまでの活動の動機や概念、プログラムなどを報告書に記します。今般のパンデミックも生態系や環境の変化に人類の活動が影響を与え、発生したことはあきらかです。そうであるとすれば同様の、あるいは人類未知の体験がまだある、ということになります。自己点検をこれからの活動の糧につなげていきたいと思えます。

【動機】

地球温暖化をはじめ、様々な環境問題は人間の活動が原因と言われています。

環境問題に関心を高め、向き合い、解決をしていくために私達は変化に対応する者ではなく、変化を起こす主体者になることが求められます。

自分を変えれば、相対的な相手が変わり、状況を動かすことができます。前向きで、希望に満ち溢れ、みんなを幸せにするポジティブ・ビジョンを描き、変化の主体者となるための活動を模索し続けます。

【概念】

- 地球の資源や自然の有限さに気づき、その保存と永続的な利用のために主体的に行動できるきっかけを創出すること。
- すでにあるものに合わせる発想ではなくて自分に合わせたモノやコトを作ろう、という試みの場を創出、提供すること。

変化を起こす主体者となるためには、従来の発想を新しいものに転換することが必要です。そのために、ひとりひとりにとって具体的で実感の伴うプログラムの企画・運営を続け、ひとりひとりが解決に向けて行動できる活動を実行する団体として在り続けます。

【指針】

- 環境問題とは次の人のことを考える力をつけること

かんきょうデザインプロジェクト History

2010年度	5月 団体設立 高校生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト + 併設イベント
2011年度	東日本大震災チャリティー上映会・講演会 震災の為、上映会・講演会のみ実施 (会場:あーすぷらざ)
2012年度	高校生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト + 併設イベント (会場:神奈川芸術劇場中スタジオ)
2013年度	高校生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト + 併設イベント (会場:そごう横浜店9階市民フロアセンタープラザ) リサイクル施設ツアー かんきょうセミナー リサイクル施設撮影会
2014年度	中高校生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト + 併設イベント かんきょう「組写」フォトコンテスト 応募対象を中学生まで拡大
2015年度	中高校生のための かんきょう「組写」フォトコンテスト + 併設イベント
2016年度	かんきょう文化祭 (会場:ワールドポーターズ) 地産地消ツアー USED リメイクファッションショー 廃材ワークショップ(廃材交響楽団)
2017年度	かんきょう文化祭 野毛山動物園でフォト教室
2018年度	かんきょう文化祭 アップサイクル広場
2019年度	かんきょう文化祭 地域清掃活動
2020年度	かんきょう文化祭 (会場:みらいチューブ) 音楽×環境「対バンやろうぜ!」

青文字 新プログラム

歩みの記録



2010年
かんきょう「組写」フォトコンテスト



2011年 上映会・講演会



2012年
かんきょう「組写」フォトコンテスト
併催イベント



2014年 リサイクル施設撮影会



2015年 かんきょうセミナー



2016年 地産地消ツアー



2016年 廃材ワークショップ



2017年 野毛山動物園でフォト教室



2017年 リメイクワークショップ



2018年 アップサイクル広場



2019年
リメイクファッションショー作品表彰



2019年
リメイクファッションショー

発行 かんきょうデザインプロジェクト

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 86-1-404

電話 080-6665-4376 / ファックス 045-681-7554

E-mail info@kankyo-design.org / Web <http://kankyo-design.org/>